

学習指導要領	都立大崎高校 学カスタンダード
<p>(4) アジアの繁栄とヨーロッパの拡大を背景に、諸地域世界の結合が一層進展したこととともに、主権国家体制を整え工業化を達成したヨーロッパの進出により、世界の構造化が進み、社会の変容が促されたことを理解させる。</p> <p>イ ヨーロッパの拡大と大西洋世界 ルネサンス、宗教改革、主権国家体制の成立、世界各地への進出と大西洋世界の形成を扱い、16世紀から18世紀までのヨーロッパ世界の特質とアメリカ・アフリカとの関係を理解させる。</p> <p>ウ 産業社会と国民国家の形成 産業革命、フランス革命、アメリカ諸国の独立など、18世紀後半から19世紀までのヨーロッパ・アメリカの経済的、政治的変革を扱い、産業社会と国民国家の形成を理解させる。</p>	<p>8章 近世ヨーロッパ世界の形成 〔1 オリエンテーション、ヨーロッパ世界の拡大〕 学習の目標を持たせる。 15世紀後半以降のヨーロッパの対外進出とその影響について理解する。 〔2 ルネサンス〕 思想・芸術・科学などの分野におけるルネサンスの展開を理解する。 〔3 宗教改革〕 宗教改革と対抗宗教改革の具体的な展開について理解する。 ヨーロッパにおける宗教戦争の深刻さとその影響を理解する。 〔4 主権国家体制の形成〕 ヨーロッパ絶対主義の盛衰について理解する。 イギリスの市民革命（ピューリタン革命、名誉革命）について理解する。</p> <p>9章 近世ヨーロッパ世界の展開 〔1 重商主義と啓蒙専制主義〕 三十年戦争後のプロイセンとオーストリア、16世紀以降のロシアの拡大について理解する。 〔2 ヨーロッパ諸国の海外進出〕 ヨーロッパ人進出がアメリカ・アフリカに与えた影響、特に奴隷貿易について理解する。</p> <p>10章 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立 〔1 産業革命〕 産業革命がおこった世界的背景や、技術革新、産業資本主義の確立などについて理解する。 産業革命から生じたシステム変動や社会問題などについて理解する。 〔2 アメリカ合衆国の独立〕 13 植民地の形成から独立戦争を経てアメリカ合衆国が成立するまでの過程を理解する。</p>

学習指導要領	都立大崎高校 学カスタンダード
<p>エ 世界市場の形成と日本 世界市場の形成、ヨーロッパ諸国のアジア進出、オスマン、ムガル、清帝国及び日本などアジア諸国の動揺と改革を扱い、19世紀のアジアの特質と其中での日本の位置付けを理解させる。</p>	<p>アメリカ合衆国の成立理念や合衆国憲法の内容について理解を深める。 〔3 フランス革命とナポレオン〕 フランス革命の進展過程とこの革命が世界に与えた影響を理解する。 ナポレオンの国内政策と征服活動について理解する。</p> <p>11章 欧米における近代国民国家の発展 〔1 ウィーン体制の成立〕 ウィーン体制とその変容について理解する。 フランスの七月革命、二月革命など、ウィーン体制に対する抵抗運動に着目し、ウィーン体制の崩壊とその意味について理解する。 〔2 ヨーロッパの再編と新統一国家の誕生〕 イタリアとドイツの建設過程、ロシアの南下政策と東方問題について理解する。 アメリカ合衆国の発展、南北戦争とその影響について理解する。</p> <p>12章 アジア諸地域の童謡 〔1 西アジアの変動〕 オスマン帝国末期の混乱とヨーロッパの介入について理解する。 〔2 南アジア、東南アジアの変動〕 インドが植民地化される過程とインド大反乱の意義について理解する。 〔3 東アジアの変動〕 アヘン戦争、太平天国などによってもたらされた清の社会変動について理解する。 ロシアの東アジア進出、日本との領土国定などについて学ぶ。</p>

